

【様式第1号】

宇部市新天町リノベーションプロジェクト事業 提案応募用紙

住所  
氏名（団体名）  
連絡先

業種	飲食店・シェアキッチン
営業日時（想定）	9：00～15：00→お茶屋&休憩所 15：00～レンタルスペース（シェアキッチン）
コンセプト・事業概要	（事業・店舗のコンセプトや具体的にどういった事業をそこで行うのか（例えば飲食店なら提供するメニュー等）などを詳しく記載ください。）
事業効果等	（その事業を行うことが、どのようににぎわい創出につながるのか、若者が集う理由や周辺への影響の広がりなどを詳しく記載ください。）

※パース図など、建物や事業の様子がイメージできるものを作成し添付してください。  
（様式は任意とします。）

# お茶どころてんぐ屋

## コンセプト

人と人、店と店をつなぐお茶屋兼シェアキッチン

日常的に利用する高齢者にとって居心地が良いと感じ、若者～中年世代まで誰でも気軽に立ち寄ることができる空間を目指した「お茶屋さん」を計画する。

「旧てんぐや」は十字路に面しており、商店街だけではなく常盤通りとも繋がっているといえる。また、同じ街区内にカフェが2店舗営業しており、おっとりとした穏やかな空気が流れ込んでくる場所である。周辺に位置するカフェとの差別化を図りながら、商店街の資源を活かした「お茶屋」は街に溶け込みながら人と人、店と店とを繋ぎ、多世代の交流と街に新たな回遊性を生み出す。

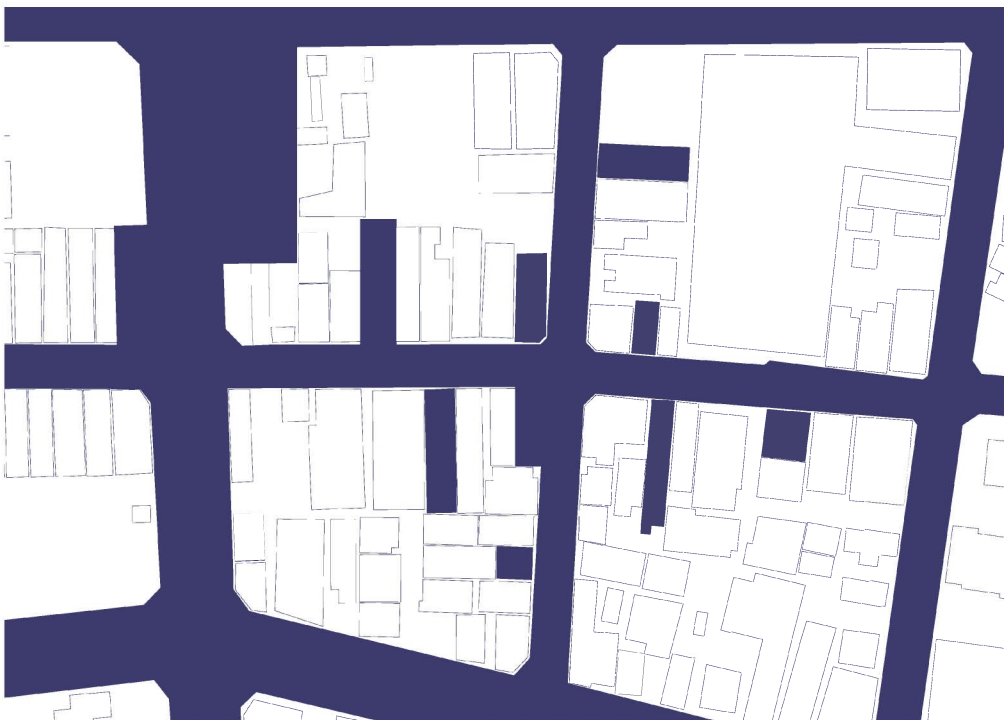


ペットクリニックの前で談笑するペット世代  
ペット世代の人々が診察の後に、散歩のついでに訪れる場所を目指す。

## 事業効果と展望

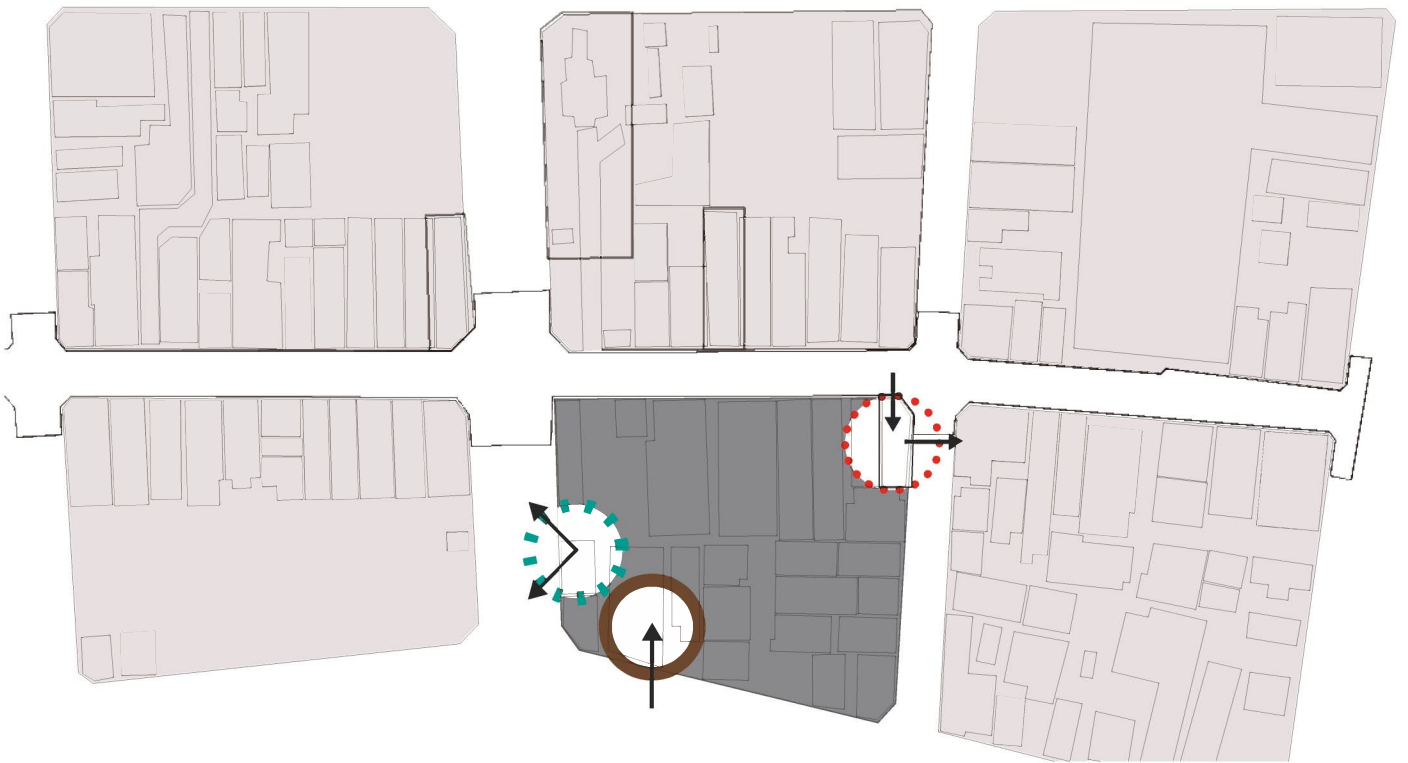


ペットクリニックからてんぐ屋までの動線がペット通りになることで歩く人々を癒す。また、中津瀬神社で採れる水をお茶に利用し、近隣の畳屋の畳を座敷空間に利用することで商店街の繋がりをより強化する。



周辺にもペット世代を対象にした店や居場所が増えていく。少しずつ商店街の対象・利用年齢を下げっていくことで将来的に若者も違和感なく商店街に介入していくことができると考える。

## 周辺カフェとの関係



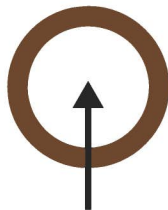
てんぐや周辺には、カフェが2店舗営業している。街区一体がカフェゾーンとして発展し人々の憩いの場となることを目指すことで、商店街の内側に溶け込みながら外との一体感を生み出していく。

piccoro coffee



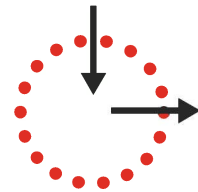
- ・低価格
- ・気軽
- ・テイクアウト
- ・オープンな設え

大島珈琲

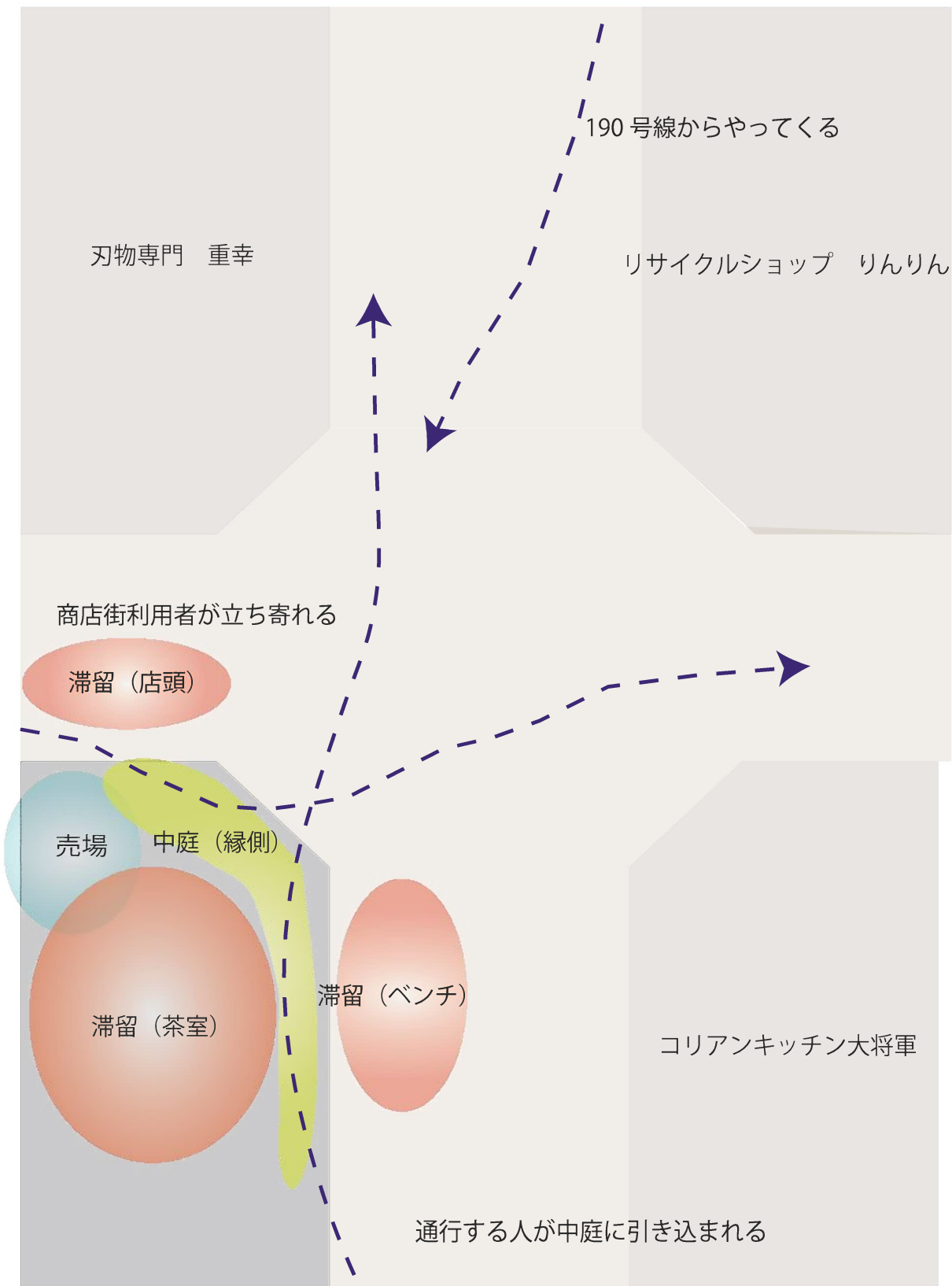


- ・中価格～高価格
- ・昔ながら
- ・店内注文

お茶どころてんぐ屋

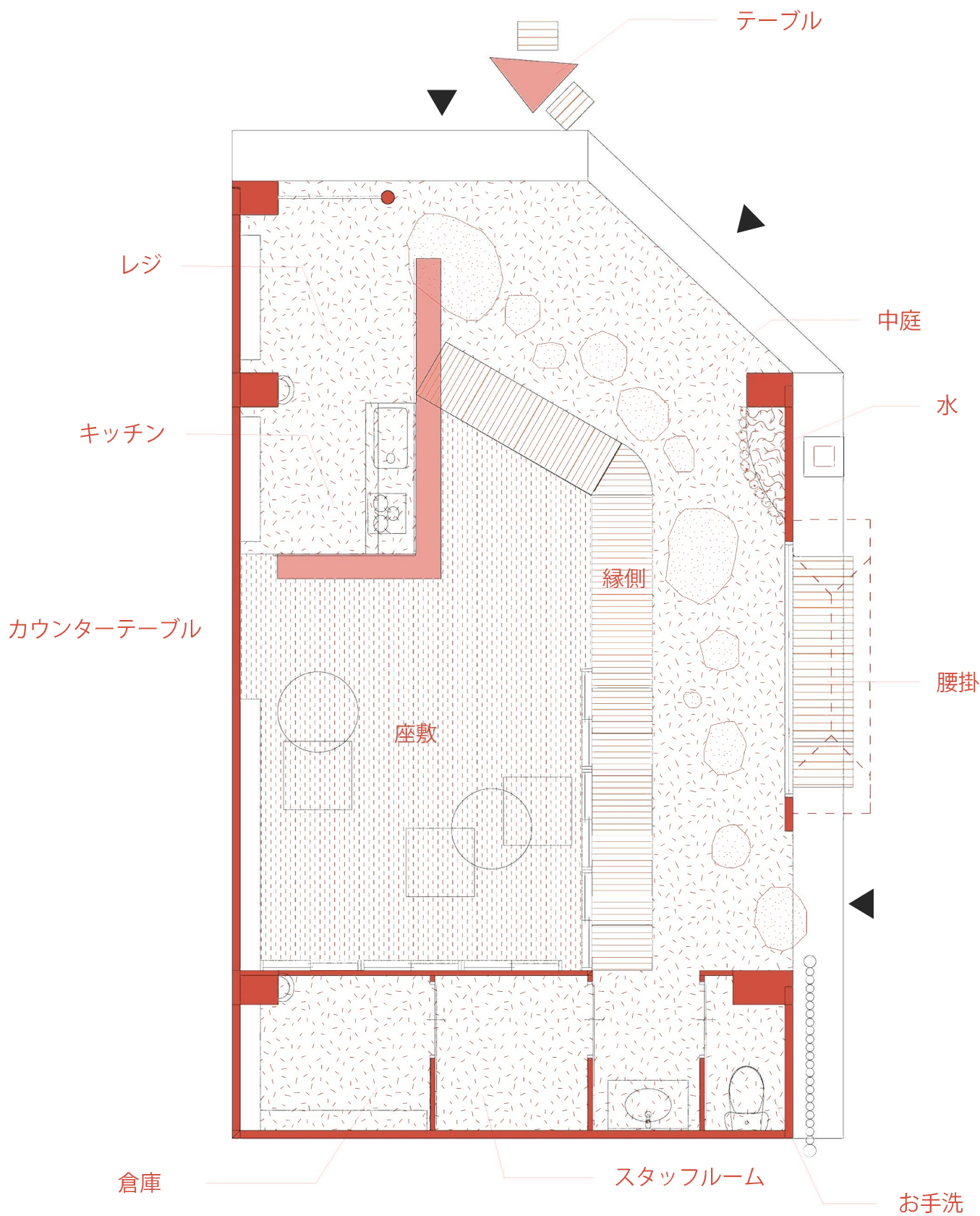


- ・中価格
- ・テイクアウト&店内
- ・ペットと一緒に
- ・座敷
- ・夜間はシェアキッチン



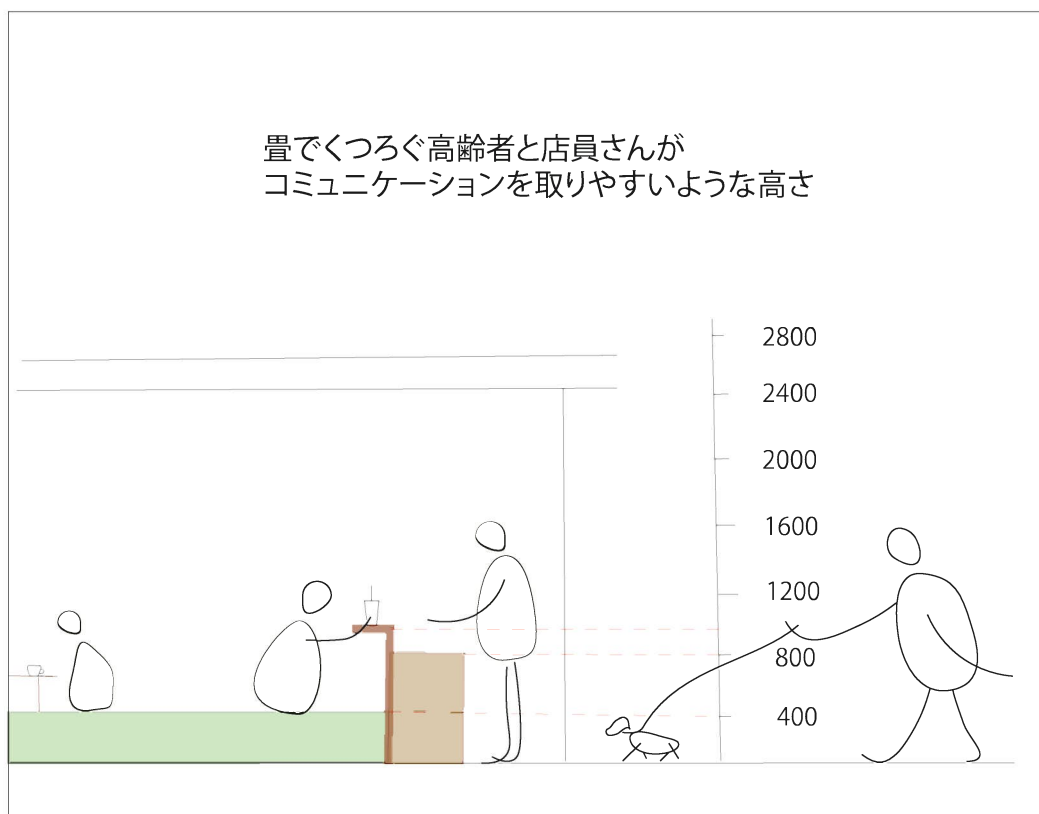
## 敷地ゾーニング





平面図

畳でくつろぐ高齢者と店員さんが  
コミュニケーションを取りやすいような高さ



## 売り上げ予想

お茶屋	・お茶①	200 円	30 杯	6000 円	20 日	120000 円
	・お茶②	500 円	5 杯	2500 円	20 日	50000 円
シェアキッチン		1000 円	6 時間	6000 円	10 日	60000 円
テナント	・物販	5000 円	1 日	5000 円	4 日	20000 円
計						250000 円

・お茶屋売り上げ、シェアキッチン利用料、テナント利用料として約 **250000 円** の収入が見込める。





